

水 稲

放射性セシウム吸収抑制対策

① 加里質肥料を施肥

旧日光町、旧今市町

※ただし、以下の区域は除く
今市、吉沢、土沢、室瀬、
千本木、瀬尾

塩化加里 17 kg/10a

(作付前に通常の基肥肥料に加えて施肥)

【農畜産物放射性物質影響緩和対策事業（放射性物質の吸収抑制対策）対象市町】
(水稲) 日光市

その他の地域

土壌加里濃度 25 mg/100gを目標として、加里を増肥する

塩化加里の増肥量 (kg/10a) = (25 - 土壌の交換性加里濃度(mg/100g)) ÷ 0.6
(黒ボク土の場合。灰色低地土の場合は、上記式×1.35。)

② 15 cm 以上の深耕

深く耕すことにより放射性セシウムが土壌に固定され、さらにセシウムが拡散するため、根によるセシウムの吸収量が少なくなります。

③ 倒伏させない稲づくり

倒伏すると土が収穫物に付着する危険性が高まります。多肥栽培を避け、生育に応じた適正な水管理を実施するなど、倒伏させない稲づくりをしましょう。

④ 土の混入防止

収穫、乾燥、調製作業において、農機具等の清掃を徹底し、粳や玄米に土が混入しないように注意しましょう。